



桃 改

本館蔵
漢字
七



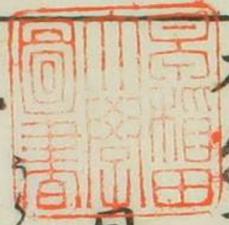
遠 13
1687
74



1687
7

三州
赤松
林

本約な陸比事卷之七



目録

- 一 怨きやハ消ひる世へんと道へんの赤せつ衣せつ
- 一 百ひゃく分ぶん自じ害がいハ借せん銭せんの皆かい漸ぜん
- 一 女にょの不ふ貞ていハ世せ界かいに拂はらひ地ち
- 一 善ぜん提だいの宥ゆう光くわうハ我われと捨する徳とくを抄せう

郷食庭文庫



一 玄理をわけて下男がまじは

一 迷ひを照すむまじの事

本朝名臣評林事卷之七 目錄

本朝名臣評林事卷之七

○ 悪の消る事の事

名忠言とは私伝丹後村らみより若くして世の苗
セヤよみかひ世傳菊の素よりす林は極び居て同村の
百姓勤者よりともの物洗物よりうり殺しよめる
水急燃よりうれをうらふ下よりありかうて身を救はせ

月日

丹後村
らみ

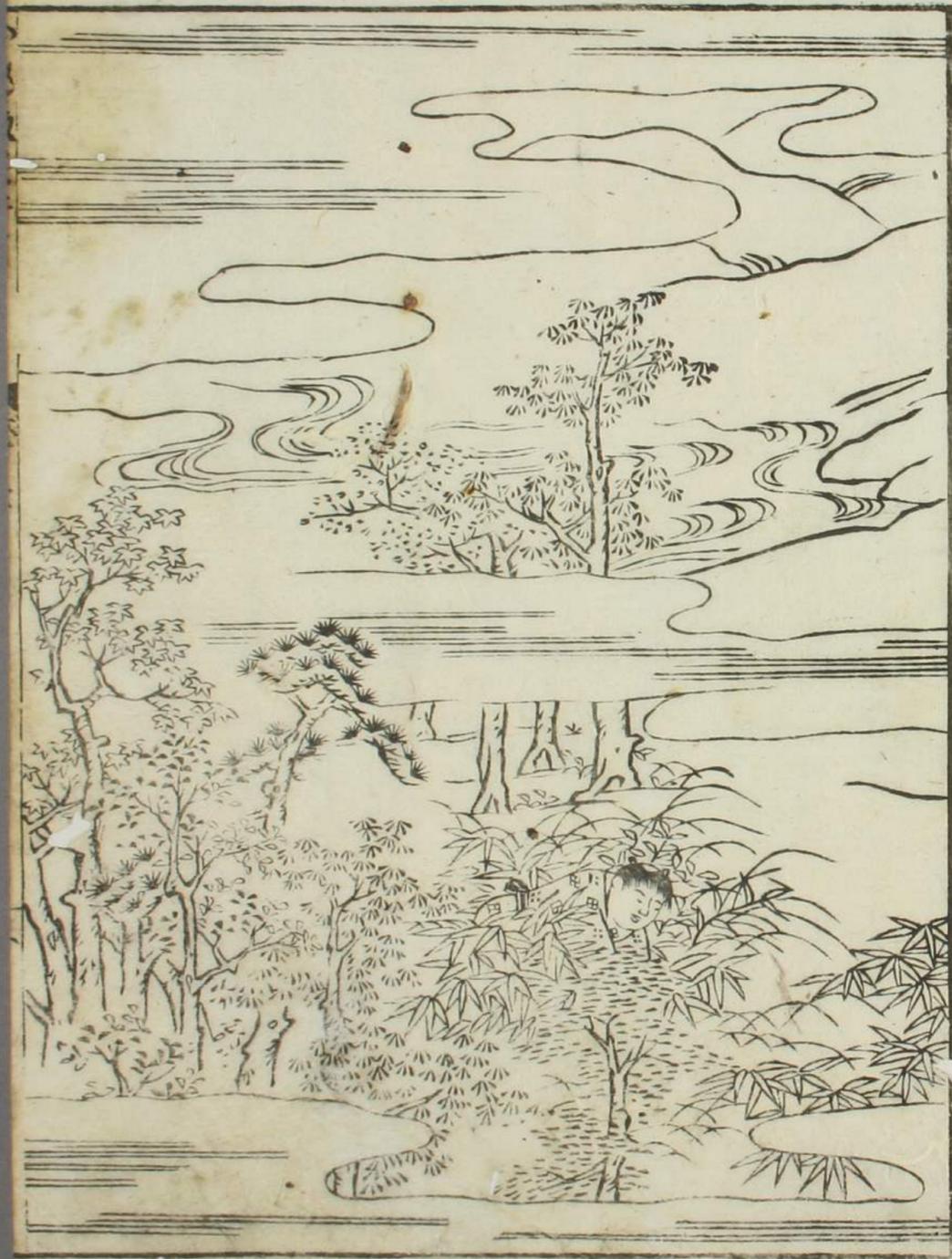
地は勤者を罰かされ大切あり人代子孫何よりて殺せしそ
と水急のありしよ。勤者よりともの事急を恨ありて
殺しよる事よみかひ今物六のより免持よみかひの
大。免をかひかへんはりしあひる事よみかひの事よみかひの

をとけて多の孫々わりの家よ。東北尾崎の笹原よびと
 世傳。黄草を拾ひんとて。まじうよとけ合たり。さうの
 事と存せび。茅葉のそとんを固めては。鉄炮お合たり。村
 教へへ。世傳よ。つくりお果んに。おどろさしとて。殺とへ
 さやうと。たあく。わまのさうり。を執はり。いふむ。地と
 伝。思つこれど。ぬまの。沙汰。する。速。思。はり。い。は。う。の。毛。地
 あ。こ。仕。合。後。悔。つ。い。ま。さ。や。う。と。た。さ。く。い。あ。い。や。う。と。親
 友。の。存。せ。よ。仲。付。く。ま。下。され。へ。て。り。を。れ。地。鉄。炮。り。や。む
 とい。類。あ。さ。う。と。そ。と。現。地。を。よ。人。殺。せ。う。い。は。母。も。死。罪。の。道
 違。ぐ。て。と。て。若。さ。よ。お。け。な。され。と。ぬ。ね。が。い。の。通。り。う。う。こ
 を。殺。て。下。さ。り。べ。と。て。あ。め。く。い。あ。を。返。お。り。け。り。が。又。十。月。七

十日ふるといふも。ぬ敷作つをらも。沙汰となりをれい。な
 株へ。も。又。所。治。ま。か。一。日。も。な。わ。か。た。死。を。ぬ。殺。し。下。され。と。り
 と。多。れ。い。ま。の。よ。仲。付。く。ま。さ。う。と。て。ゆ。り。さ。う。地。鉄。炮。り
 名。を。さ。ら。せ。い。む。び。む。と。い。ま。の。と。お。殺。せ。し。ゆ。者。い。ま。い。た。
 の。百。姓。を。と。め。い。田。畠。何。れ。も。お。の。ぞ。と。い。た。つ。孫。わ。り。は。も。勤
 者。い。ま。又。六。町。七。八。の。小。百。姓。と。り。さ。う。ま。は。は。丹。後
 村。の。か。い。げ。よ。を。邊。和。高。と。て。伝。密。河。家。の。名。務。わ。り。け。れ。が
 あ。の。時。地。鉄。炮。り。と。助。を。た。せ。ぬ。が。世。傳。の。う。う。れ。一。日。も。な。わ。く
 殺。し。夜。殺。い。あ。う。と。邊。と。い。傍。ま。よ。あ。め。く。仲。付。せ。ら。せ
 々。ふ。い。あ。る。子。細。へ。な。ぞ。孫。と。い。は。さ。う。ま。は。地。鉄。炮。り。と。邊。和。高
 一。と。殺。し。い。は。な。し。と。を。か。り。た。れ。い。和。高。ら。う。と。ぬ。不。審。と。て。高。い

よ二三の隠遁して。まづ地獄の事をおぼえど。今も衆人の
依をれめと仰付らまじ。殺生戒を破る人なりぬ。今こそ
やと。おぼしめしが。次が智及愚備の備なり。わかれ。転て地獄
の處を。や。家。まひ。ん。を。い。さ。あ。く。し。か。若
忽因果縁を。用。こ。世。の。事。賤。貧。弱。命。長。短。の。事。現
ある。根。の。ま。あ。り。ま。あ。り。乃。富。貴。の。事。又
かり。夫。よ。あ。り。て。命。を。失。ふ。事。の。ま。あ。り。乃。次。を。疏。さ
禱。は。怪。我。ま。事。ま。て。周。縁。縁。縁。を。死。事。あ。こ。次。大
聖。教。の。一。代。乃。説。經。げ。周。果。の。二。の。を。演。多。ひ。て。三。世。を。立
一切。乃。を。情。を。引。揚。く。あ。り。ま。あ。り。乃。ま。あ。り。乃。種。を。た
ら。ま。の。周。の。り。根。根。を。ま。の。果。の。り。止。苦。の。産。業。の。り

まて因果此部々といふ。抽か。い。ん。や。け。愛。子。決。絶。の。命
を。終。る。事。定。業。因果。の。い。ま。の。理。なり。され。を。び。の。り
の。三。世。を。見。通。し。事。死。漢。果。を。ゆ。て。六。神。通。の。う。ち。富。明
通。を。ゆ。ま。ま。未。來。八。万。劫。の。名。れ。ま。あ。り。ま。あ。り
未。代。の。凡。夫。沙。門。これ。を。ら。す。ま。あ。り。乃。の。理。の。り。て。親。す。ま
か。い。て。い。わ。ら。ま。あ。り。乃。の。理。の。り。て。親。す。ま
敵。今。劫。者。と。生。れ。來。て。高。智。乃。根。を。ま。あ。り。乃。の。理。の。り
引。お。渡。る。事。を。又。劫。者。乃。と。死。と。存。し。殺。害。乃。輕。い。を
善。さ。ら。ん。又。善。根。の。周。を。荷。り。乃。又。然。敵。の。果。を。親。す。ま
の。あり。乃。の。理。の。り。乃。の。理。の。り。乃。の。理。の。り。乃。の。理。の。り
心。事。乃。く。た。ま。の。車。の。あ。る。乃。の。理。の。り。乃。の。理。の。り。乃。の。理。の。り



三教の隆を以て深しせよとありて、
子とありて、
て歌を以てせんまじりて、
一はもと目下、
誦經し。仏祖は法施あり。佛性の若しとをたけてこそ
なり。勤者よ恨をじらぶよありて、
びべしと。法隆縁の二説は弁言を振て法流ありと
胸本石よりわれを流源して、
乃を難法をうけ給り。いふと世傳にありて、
わごころ世のしつりを親よありしころも、
と存しんとて、百練して世よ比及せり。りともや死に

すす存しとて、
とけり下されんと。これとて、
と先かかれ。おやの程いよき也。一念とんころあり
す。子生れて七歳に難月。一年は式百に三か下り
宛経を始末して入中。右本の舞を能くしり授けり。我
朝文を遠よ事なり。如長乃法百倍ありて、
あつふ汝がよきとて、
舞月がよきおとすべしとて、
勤者よ、しつりありて、
して送りける也。法よりこそ世の心をさびくとも、
しとおぬけるなり。地元のそりしころ、

作付しつゝもたれりなりてまねはせ

坂本町本巻

月日

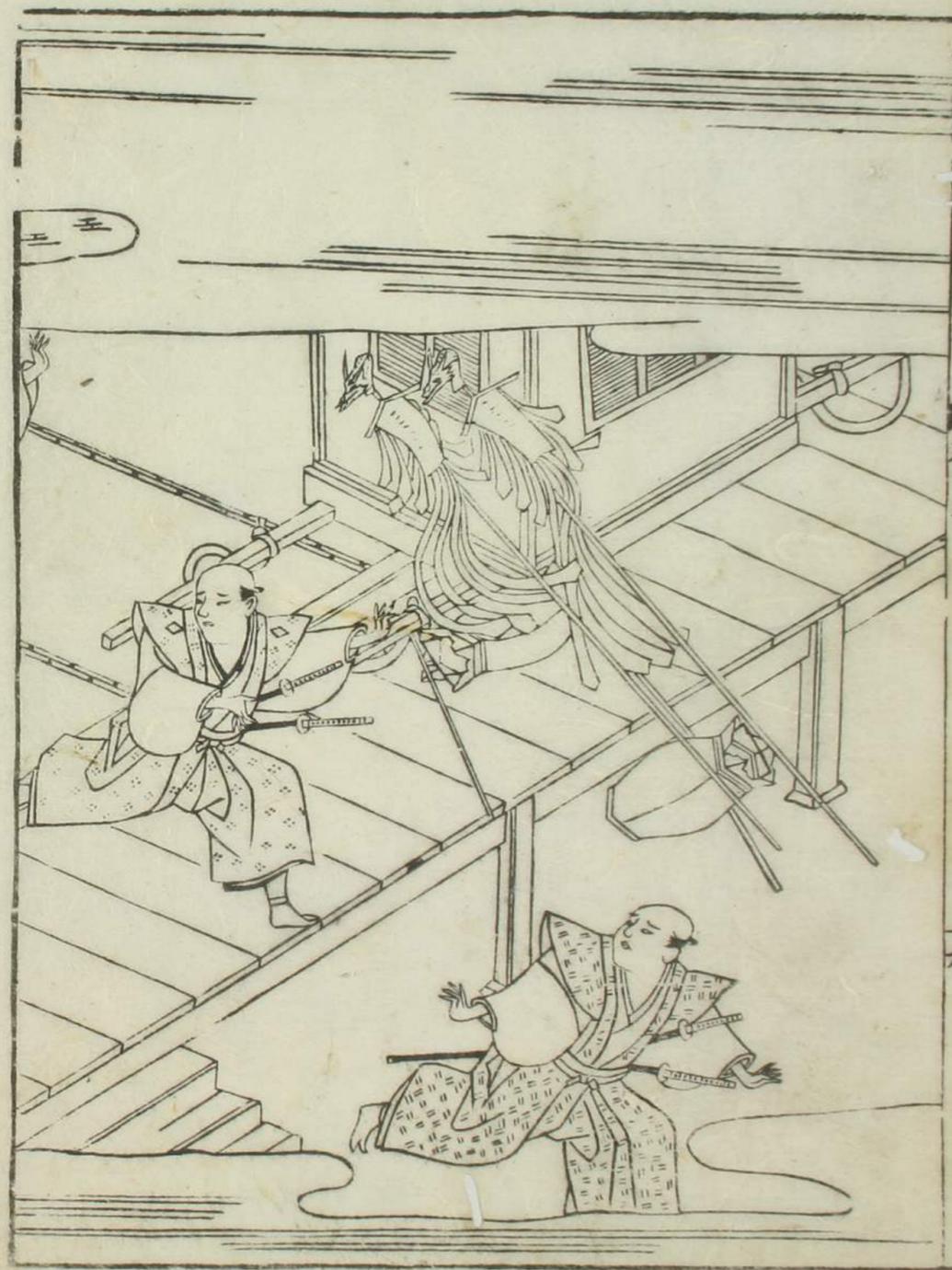
左馬八判

右馬八判

表六判

此の御持を以て死しきる者の御さういひせよある事
ありし半ありむだにけり人ご。ある御一死よのよの御
志しよの百八対面ごけお遠きこれおしてけり。此の御さ
しよ御さうけり。きり八喜とごに百八が宿よふ御持
振らうよ。ありしにきり半ありし。負し御の事さしおせの
それいまお御せしとす。後ごぬと御長干がごのあふ
よの方面果も御。今いご、対面ごも事あらゆごし
よの御生らうとす。巻よも南よも御けり。これと巻

返されししよ御せし。あで御ししやま。先ん御て御へ言
とす。御しつゝもたれりなりてまねはせ。此の御持を以て死し
きる者の御さういひせよある事ありし半ありむだにけり人ご。
ある御一死よのよの御志しよの百八対面ごけお遠きこれお
してけり。此の御さうけり。きり八喜とごに百八が宿よふ御持
振らうよ。ありしにきり半ありし。負し御の事さしおせの
それいまお御せしとす。後ごぬと御長干がごのあふよの
方面果も御。今いご、対面ごも事あらゆごしよの御生らう
とす。巻よも南よも御けり。これと巻



我々を以て作はせり。是れ下へと移るにたれ。地以作らば。指
手よ及い。妻子舅姑。眷屬甚多い。男は他法を重んじ
よ。及ぶと。毎月旬の世間候なり。平らじ。も方々。致親病中。乃
某代葬礼。吊料。の家。灰。質。物。よ。今。も。仕。ら。ぬ。り。か。い。ら。ぬ。候。に
も。外。麻。堂。の。ケ。聲。し。か。つ。ら。る。前。の。古。佛。拂。さ。の。れ。へ。ま。ま。と。あ。よ
お。海。と。よ。ま。つ。て。い。ぬ。家。賣。さ。る。所。と。た。え。へ。せ。ら。し。そ。又。或。人。如
子。い。誰。あ。ら。る。時。男。子。の。丈。如。子。の。妻。の。方。へ。は。く。事。古。来。り
乃。法。かり。と。て。出。た。わ。き。ま。り。た。い。び。如。常。く。不。貞。ふ。り。我
由。よ。身。許。お。き。か。い。法。人。より。し。ゆ。ゆ。び。さ。れ。水。の。後。三。智。恵
く。丈。よ。不。礼。せ。し。現。世。の。じ。い。と。ま。よ。い。た。う。く。せ。せ。け。り。元
の。丈。ぬ。よ。う。く。中。ら。る。こ。の。世。の。終。り。ら。る。く。り。かり

○ 若提の省免は我と捨る徳也

名。悲。言。と。仕。ぬ。指。佛。依。い。背。戸。可。一。念。を。れ。他。持。し。て。死。に。面。涉
家。中。の。川。付。金。の。後。指。佛。我。金。と。し。り。若。死。仕。ぬ。中。付。金。の。後
寺。の。且。方。と。は。仕。ぬ。由。法。と。い。ひ。て。び。我。金。の。を。去。葬。よ。仕。れ。ぬ
御。よ。り。身。り。夜。お。葬。礼。仕。ぬ。後。指。佛。前。一。面。人。の。外。縁。記
が。ま。う。と。者。も。ら。へ。す。ず。松。お。指。佛。と。あ。り。と。ぞ。よ。引。等。侍
かり。へ。い。び。指。佛。と。り。に。勅。さ。か。め。さ。く。と。桶。か。い。と。さ。い。致。金。の。入
り。死。か。大。君。と。わ。げ。て。死。さ。う。は。る。若。と。何。の。こ。の。懸。わ。り。て。世。に。ま。よ
埋。ん。と。い。さ。り。け。ら。せ。と。二。玉。乃。と。く。ま。い。と。い。は。い。付。お。中。指。佛
を。指。佛。と。始。め。か。ら。る。と。度。敷。より。入。る。衣。も。の。あ。か。く。ゆ。り。た。れ
い。不。い。寺。内。の。を。指。佛。し。い。ら。る。び。指。佛。入。へ。る。者。は。い。け。て。後。の。法。よ

てふ。たゞも殺してなりを理めず。一とて。法を二二人推せり
あつた。さかりふ。い。び。我。等。竹。塚。の。丸。を。推。を。引。を。引。一。打。は
ぬ。十。人。を。打。殺。し。し。ば。す。押。お。よ。お。を。し。れ。ら。う。は。く。若。き。人。今。は。我
等。の。數。長。の。門。を。く。め。り。あ。ま。大。法。中。の。扉。を。こ。り。人。死。の。ま。や
よ。ま。の。ま。り。を。り。あ。ま。の。め。た。い。ま。ま。を。ま。り。よ。引。殺。す。法。人。事。儀
の。非。魔。り。と。我。等。の。い。じ。う。り。法。は。ゆ。を。打。り。し。去。非。社
と。い。は。る。手。利。の。力。若。と。ら。下。り。て。示。は。い。と

月日

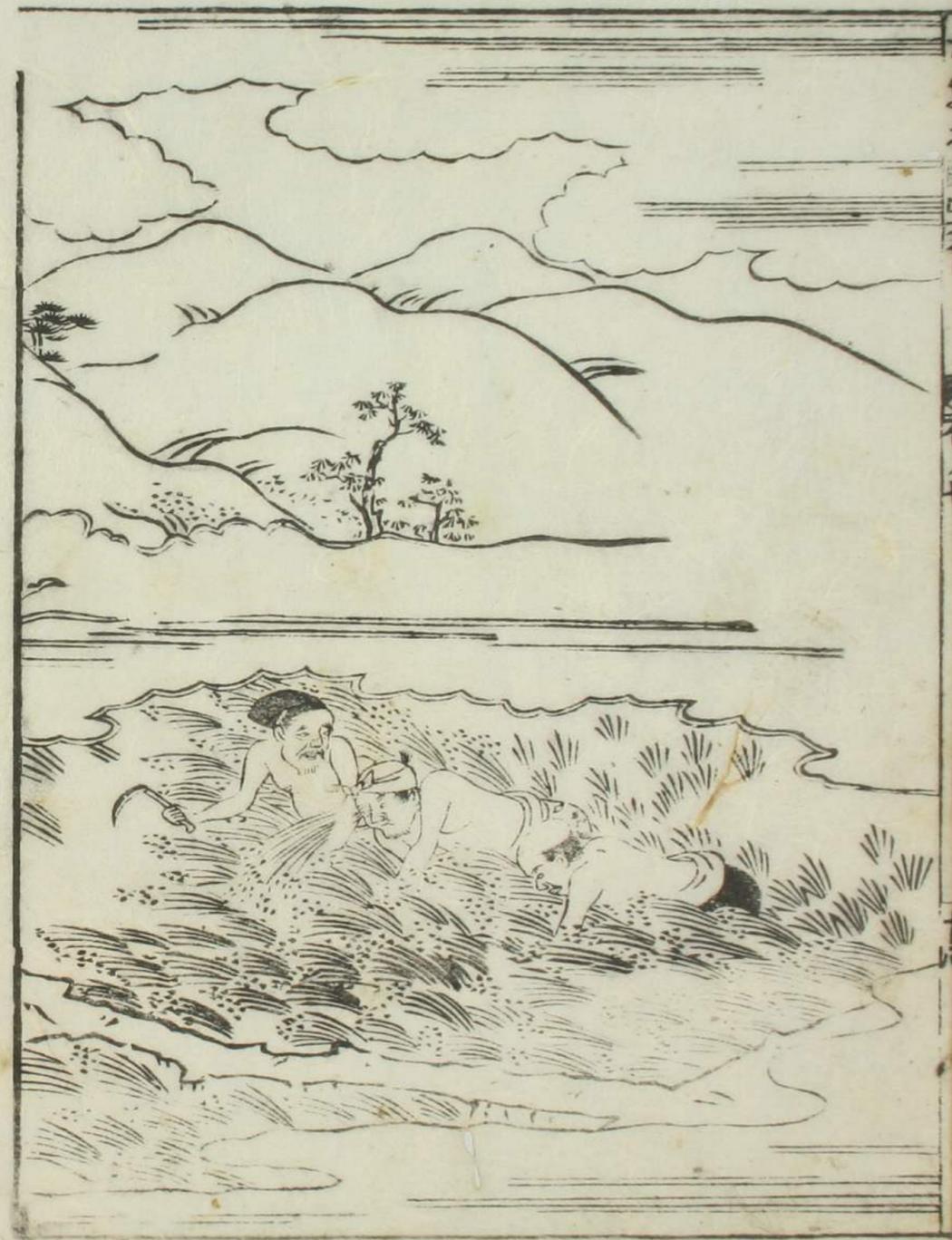
一合寺

恒持判

地。以。空。う。若。り。推。し。入。て。ゆ。さ。い。獲。生。た。る。若。を。い。も。他。た。と。殺
と。と。り。事。い。ま。の。政。た。い。わ。り。し。ら。の。後。が。り。さ。わ。い。は。い。や。り。り。日。が。り
し。て。寺。中。と。今。の。命。が。殺。害。と。る。事。秋。か。れ。後。も。も。あ。る。い。ま。の。我

よ。い。ね。せ。い。の。死。い。ら。ち。う。と。と。は。何。と。ま。し。と。して。葬。送。つ。と。と。事
か。し。今。は。若。を。親。し。と。若。か。く。よ。速。葬。送。せ。し。と。一。た。り。病
生。あ。る。か。何。れ。の。料。り。て。殺。と。し。し。と。う。の。我。等。の。と。り。せ。り
と。一。ま。い。作。し。入。て。寺。中。の。ま。り。の。い。ら。ち。の。中。に。刺。さ。る。の。殺
と。と。と。て。も。是。れ。も。一。命。を。看。光。の。こ。う。く。若。よ。り。後。せ。り。と
す。これ。と。あ。す。よ。ら。う。と。い。ま。の。い。ま。の。法。神。と。う。の。氣。心
逆。縁。か。が。う。我。等。深。信。た。し。入。り。し。と。う。の。作。ら。せ。と。れ。た。我。等。の。と
く。し。け。り。り。も。大。さ。の。祭。利。が。な。れ。せ。よ。り。と。う。の。と。う。の。事
方。の。ん。若。と。ゆ。り。り。か。り。の。時。良。判。察。と。な。れ。と。て。我。入
と。法。后。改。め。一。生。念。仏。と。も。他。の。素。懐。と。し。け。り。と。う。の

○ 云理を知く下男が云法



外河野へ指系仕合子指取懐中仕合ひより諸代終して
以て約にお宿の者も用を爲る。強功をたつとれ指取よ
まうせ指取合子へ指取せりいせりもまう入を以て今約あま
いさ共合ひて一に内里とわけて存かすはゆりたの事をわけ
いて忍中いよたの合子あらんをりさ次三是わけていせり
取は遠いぬぐうと続わり。貞教ゆ味仕く指取ぬぐうと
不足つう。と取これありいよ村亭と穿鑿仕ぬえ
存せざる事代終よりいせりけいけいけいけい服仕う三取れ不足
合よ取わいすいせり指取られぬ諸代終つとるなりと
とる指取いと

月日

下野やとあつた
六つと判

此取作おされい亭よりその合子を證しとらに三取り
取てと取取取一むと取取取とれは取取とあま一亭もま
いもくやと取とあつた。取取取一りい取へ取とりは取取人
これと今約合ひてとる指取いととる指取いととる指取いと
若これありいせり指取いととる指取いととる指取いと
三取り不足合の指取よとる指取よとる指取よとる指取よ
指りれ強人何とわけてとる指取いととる指取いととる指取いと
亭ととる指取いととる指取いととる指取いととる指取いと
合ととる指取いととる指取いととる指取いととる指取いと
とる指取いととる指取いととる指取いととる指取いと
指人へ合力合ととる指取いととる指取いととる指取いと

藏板書物目錄

算法重宝記改成

五冊

算法淵疑抄

五冊

立花訓蒙圖彙

六冊

立花時勢秘 卷八

八冊

一体系一

五冊

一体同字一茶

五冊

一体奇笑記

六冊

巧茶指覽

指方

六冊

日 評判

指方

二冊

中巧茶初抄

一冊

茶湯去其毒子

六冊

改算智惠車大全

一冊

万海塵劫記大全

一冊

高人平生記

一冊

立花大全

一冊

立花便象

一冊

本朝諸士百家記

六冊

楠一生記

十二冊

巧茶經抄

修物

二冊

巧茶指南抄

口口

三冊

日 力州

口口

三冊

當流茶用料理大全

一冊

料理切形秘傳抄

三冊

婚孔仕用瞿麥袋	二冊	女個法記諸孔鑑	一冊
女用類今川	一冊	女今川	二冊
女教補談袋	一冊	女今川娘鏡	一冊
女蒙求艷詞	一冊	女庭訓所文庫	一冊
女筆君二代 <small>長谷川</small>	三冊	和國玉子 <small>及人</small>	五冊
朝鮮人素行記 <small>小瀬曲馬八二冊 六全初板一冊</small>	一冊	諸孔筆記	四冊
朝鮮人素行儀式	一冊	日本鹿子	十二冊
武家名教	五冊	增補華夷通商考	五冊
舞樂隨筆大全	七冊	医術家傳集	一冊
純訓蒙園彙	三冊	朝鮮年代記	三冊
誦習抄 <small>火打</small>	一冊		
大坂圖 <small>抄本 新改</small>	一冊	京都書林	菊華堂

寺町通松原上町

京都書林

寺町通松原上町西側

菊屋七郎兵衛

板行

